

# 平成22年度京都府ユニットケア施設研修

## ユニットリーダー研修実施要領

### 1 目的

本事業は、ユニットケア施設(ユニット型介護保険施設及び一部ユニット型介護保険施設、並びに準ユニットケア加算対象施設またはユニットケアを実施する介護保険施設をいう。(開設又は実施が確実な施設を含む。以下同じ。))の職員に対し、ユニットケア(居宅に近い居住環境の下で、居宅における生活に近い日常生活の中で行われる生活単位と介護単位とを一致させたケアをいう。以下同じ)に関する研修を実施することにより、ユニットケア施設が入居者又は利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居又は利用前の居宅における生活と入居又は利用後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、入居者又は利用者が自立した日常生活を営むことを支援することを目的とする。

### 2 実施主体 京都府、京都府老人福祉施設協議会

### 3 研修対象者(約35名)

ユニットケア施設に勤務している職員又は勤務する予定の職員であって、各ユニットにおいて指導的役割を担う者。

#### (1) 研修内容等 別紙の通り

#### (2) 研修期間等

講義・演習(3日間)+施設実習(5日間)+フォローアップ研修(2日間)の全10日間とする。

##### ① 講義・演習

第1日目 平成22年 9月16日(木) 京都社会福祉会館4階

第2日目 平成22年 9月17日(金) 京都社会福祉会館4階

第3日目 平成22年10月19日(火) 舞鶴勤労者福祉会館(JR西舞鶴駅)

##### ② 施設実習

◆日時 平成22年10月25日～平成22年11月12日の間に5日間。

◆実習施設 (追ってお知らせいたします)

◆スケジュール等

➢期間内に上記の1施設で連続5日間分の実習とする。

➢各施設の受入れ人数の関係で、実習日程を調整する。

##### ③ フォローアップ研修

◆日時 平成22年1月27日(木)～1月28日(金)

◆会場 京都テルサ西館3F第一会議室

## 5 修了証

研修の全科目を受講した者に対し、京都府知事の修了証を交付する。

## 6 留意事項

### (1) 参加方法

- ① 下記の研修修了者が現に管理者をしている施設について、参加対象とする。  
ア 認知症介護研究・研修東京センターの管理者研修（本年度受講予定者含）  
イ 平成15～20年度の京都府実施の管理者研修
- ② 原則として1施設から2名まで参加できることとするが、申込者が定員を超えた場合は調整する。2名申込みの施設は、申込書に優先順位を記載すること
- ③ 研修参加者は全日程に参加すること。

### (2) 下記の課題提出が修了の要件となる。提出期限及び記入様式等は別途通知する。

- ①研修開始前 >事前課題シート、>入居者体験レポート
- ②第3日目 >ユニットケア導入・運営計画書
- ③施設実習 >実習報告書
- ④フォローアップ研修 >導入・運営計画進捗状況 >改善プロセスシート

### (3) 本研修受講生への支援について（お願い）

本研修は、講義・演習（3日間）＋施設実習（5日間）＋フォローアップ研修（2日間）と約半年間をかけての長丁場の研修であることに加え、期間中、ユニットケア導入運営計画書の作成・実施・評価等、多くの課題に取り組んでいただく必要があり、受講生にとって大変厳しい内容となっています。

つきましては、各施設の施設長様をはじめ中間管理職等の皆様に以下の点にご留意いただき、受講生が本研修の中で貴施設の代表として主体的に取り組みを進めていくことができますよう、受講生への支援をお願い致します。

- ①本研修に参加する目的について、事前に受講生に十分説明を行って下さい。
- ②2日目修了後、3日目までの間に、必ず面談の機会をつくっていただき、研修内容の報告や貴施設におけるユニットケアの今後の取組の方向性などについて話し合ってください。それらの内容を「施設長との対話シート」として提出していただきます。
- ③ユニットリーダーとともに「ユニットケア導入運営計画書」を作成してください。（リーダーが作成した計画を施設の計画として共有化し、実施にあたって、リーダーと管理者の役割分担を行ってください）
- ④フォローアップ研修までに、「ユニットケア導入・運営計画書」の実施状況について、リーダーと評価する機会を作ってください。

以上、大変ご多忙とは思いますが、本研修の目的達成のためにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 7 受講費用等

- (1) 受講者は、研修資料費、施設実習費の一部として、受講決定通知後速やかに、次の金額を指定の銀行口座に振込むこと。(受講料には研修期間中(ユニットリーダー研修の施設実習を除く)の昼食代を含んでいます。)

◆ユニットリーダー研修受講料	65,000円
◆懇親会参加費	5,000円

※懇親会(情報交換会)は研修1日目の9月16日の講義終了後に、京都国際ホテルで行う予定です。参加者の交流を促進し、本研修の演習をスムーズに進める観点から、特段の理由のない限り、ご参加いただきますようお願い致します。

- (2) 研修テキストとして下記の書籍を使用する。それぞれの研修初日に受付にて販売するので、購入希望の方は、受講申込書に冊数を記入すること。

◆書名	改訂『利用者の生活を支えるユニットケア』
◆編集	認知症介護研究・研修東京センター
◆発行	中央法規出版
◆価格	2,940円(税込み)

- (3) 研修会場への交通費、宿泊費は、受講者負担となります。施設実習期間の食費は、各実習施設に直接支払うこと。

- (4) 本研修の参加に関して、宿泊施設の斡旋紹介は行いませんのでご了承下さい。

## 8 受講申込み

受講希望施設は、別紙申込書に必要事項を記入し、8月20日(金)までに、京都府老人福祉施設協議会事務局(Fax 075-802-4699)までファックスでお申込み下さい。

受講要件を確認の上、受講決定を行い受講者に通知します。また、希望者多数の場合、受講をお断りする場合がございますのでご了承下さい。

## 9 問合せ

内容等に関するお問合せは、下記へお願いします。

- ◆ 齊藤裕三 特別養護老人ホーム神の園  
(Tel: 0774-94-4125 Email: kaminosono\_sy.1965@jewel.ocn.ne.jp)
- ◆ 京都府老人福祉施設協議会 事務局  
(Tel: 075-802-4642 Email: furoukyo@mpd.biglobe.ne.jp)

(別紙)

【ユニットリーダー研修】

月日	時間・形式	テーマ	ねらい	講師等
9 月 16 日 (木)	9:30～ 開講式			京都府 府老協
	10:00～ 12:00 (120分) 講義・演習	ユニットケアの 理念と意義～ユ ニットケア導 入・実践の課題～	個別ケアを推進する一手法 であるユニットケアの理 念・意義について学ぶ。ま た、ユニットケア実践にお ける工夫や課題について学 ぶ。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏
	13:00～ 14:10 (70分) 講義・演習	ユニットケア実 践の課題と工夫 Ⅰ	ユニットケア実践のために リーダーとして必要な知 識、リーダーシップ、職員 間の連携等の方法について 学ぶ。	安田 歩美氏 (虹ヶ丘) 研修委員
	14:10～ 17:30 (200分) 講義・演習	ユニットケア実 践の課題と工夫 Ⅱ	ユニットケアの実践事例か ら、課題や具体的な導入・ 実践方法を学び、自施設の 導入・実践に活かす。	糸井恵理奈氏 (ライフステージ舞夢) 吉岡 雅広氏 (丹後園) 松尾 隆昭氏 (神の園) 研修委員
	18:30～ 20:00	懇親会 (情報交換会)		
9 月 17 日 (金)	9:00～ 12:30 (210分) 講義・演習	高齢者の生活と その環境	高齢者の生活を支える環境 (居住)について、家庭的・ 心理的に安定が得られる環 境の作り方について学ぶ。	大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 三浦 研 氏
	13:30～ 16:30 (180分) 演習	ユニットケア実 践の課題と工夫 Ⅲ	ユニットケアの実践事例か ら、課題や具体的な導入・ 実践方法を学び、自施設の 導入・実践に活かす。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏 研修委員
10 月 19 日 (火)	9:30～ 16:30 (360分) 演習	ユニットケア実 践の課題と工夫 Ⅳ	自施設で作成したユニット ケア計画書について、グル ープ討議を行い、課題や工 夫等について検討する。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏 研修委員